

1 雄飛学園構想の経緯

平成18年度以前から、金泉中校区の三校（金泉中学校、金立小学校、久保泉小学校）は連携を進めていた。主に、小学校6年生を対象とした中学校入学に向けたプロジェクトであった。プロジェクトは、新入学説明会（12月上旬）、小6部活動体験（8月上旬）、オンライン授業の3事業であった。

平成19年度、全国的な小中連携の流れや中一ギャップ解消、及び行政機関からの要請等から小中連携の本格的実施に向けて雄飛学園構想が発足した。雄飛学園構想はこれまでの連携を軸にしなが、学校行事と校内研における連携を展開するとともに、PTAを中心に地域連携へと拡大した。その中でこれまで三校連絡会という会議名で開催されていた小中PTAの会議は「雄飛学園PTA」となり、小中のPTAが連携して様々な取り組みがなされるようになった。取り組みを進める中で、雄飛学園構想は中一ギャップ解消や行政機関からの要請から進めるものではなく、「金泉校区の子どもたちが安心して学校生活を送ることができる地域の創造」「金泉校区の子どもたちが安心して暮らすことができる地域の創造」を目指すものとなった。このねらいは、佐賀市が提唱する「市民性を育む教育」及び「子どもへのまなざし運動」の視点とも合致するとともに、「開発的かかわり（平成19年度までは開発的生徒指導）」を意図的に地域ぐるみで展開することで迫ることができると考えるようになった。

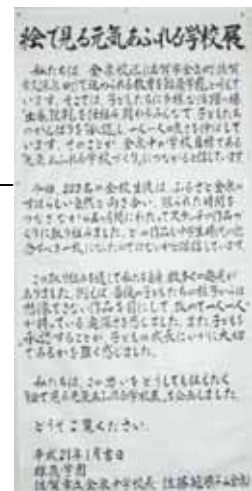
- 1 開発的かかわり...平成19年度までは「開発的生徒指導」と表し、生徒指導の手法として学校づくりの柱としていた。平成20年度より、「開発的かかわり」と表現を改めた。子どもの良さの伸ばす、気づかせるための意図的な出番・役割・承認設定に変わりはないが「かかわり」の言葉の意味が持つ柔らかさ、優しさを優先させた。

資料1 ちらし



資料2 絵で見る元気あふれる学校展趣旨

私たちは、金泉校区（佐賀市金立町、佐賀市久保泉町）で進められる教育を「雄飛学園」と呼んでいます。そこでは、子どもたちに多様な活躍の場、「出番」「役割」を仕組み、関わりみんなで子どもたちのがんばりを「承認」し、一人一人の良さを伸ばしています。そのことが、金泉中の学校目標である「元気あふれる学校づくり」につながると信じています。今回、223名の全校生徒は、ふるさと金泉のすばらしい自然と向き合い、限られた時間をつなぎながら五ヶ月間にわたってスケッチの作品づくりに取り組みました。どの作品も中学生時代の記念すべき一枚になったのではないかと確信しています。この取り組みを通して私たち自身、数多くの発見がありました。例えば、普段の子どもたちの様子から想像できない作品を前にして、改めて一人一人が持っている奥深さを感じました。また、子どもを承認することが、子どもの成長にいかにか大切であるかを強く感じました。私たちは、この思いをどうしても伝えたく「絵で見る元気あふれる学校展」を企画しました。



2 「絵で見る元気あふれる学校展」開催に向けた小中連携と地域連携 開催までの経緯

平成21年1月26日～2月1日の間、佐賀県庁1F県民ホールにて「絵で見る元気あふれる学校展」が開催されることとなった。当初、佐賀市立金泉中学校の学校展として開催する予定だったが、佐賀市立久保泉小学校と佐賀市立金立小学校も参加することとなった。

展示内容は、金泉中学校全生徒（223名）が描いた風景画、金立小学校2年生の木工作品、久保泉小学校6年生の書写である。全ての作品に承認メッセージカードが添付され、そこには、学校の職員及び、保護者や地域の人の承認メッセージが記入されている。

当初、子どもたちの作品を広く市民に参観してもらいたいということが学校展開催のねらいであったが、準備を進める中で、小中連携、及び地域連携による開発的かかわりの良さを広く発信すると価値付けも明らかになり、ねらいとして位置付けられた。

資料3 承認メッセージを書き込む



小中連携，地域連携での準備
 ア．承認メッセージカードの記入

今回の取り組みで重視する点は，作品に対して開発的かわりを行っているところである。そこで，資料2のような「承認メッセージカード」を小中で記入し作品に添付することとした。承認メッセージカードには，学校職員だけでなく，保護者や地域の人からもメッセージを書いてもらった。

イ．小学校展示作品の選定

雄飛学園として，金立小学校と久保泉小学校も学校展に参加することになった。そこで，両小学校は，小中連携で進めている出前授業での作品を展示することとした。金立小学校は，2年生，図画工作への出前授業で作成した木工作品，久保泉小学校は，6年生の出前授業「書写」の作品である。

保護者・地域の学校展への理解

ア．学校展協力者打合せ

開催にあたって雄飛学園PTAに協力を依頼したところ，次のような声が返ってきた。「子どもたちの活躍の場をここまで与えてくれる学校に対してはならないところ..。」であった。

1月15日（木）の学校展協力者打合せには多くの保護者，地域の方が参加した。

イ．作品の搬入

搬入は1月25日（日）午後から行われた。学校展協力者打合せに参加した保護者が広く地域の声をかけていたため，多くの保護者，地域からの応援があった。大型トラック数台が金泉中学校に集まり，搬入作業が始まった。

県庁1F北口に横付けされたトラックからは展示用具の一切が保護者を中心に駆けつけた協力者の手で県民ホールに運び込まれた。

資料4 学校展協力者打合せ会資料

院で興る元氣あふれる学校展協力の報告VOL. 3

【記入事項】
 1. 氏名 (氏名) 1. 4: 金立中学校にて働く心みゆ
 1. 3: 金立 由希
 1. 2: 金立 美穂
 1. 1: 金立 美穂

【搬入日時】
 2. 1 (日) 1. 2: 金立 美穂
 1. 3: 金立 美穂
 1. 4: 金立 美穂
 1. 5: 金立 美穂

搬入開始時間	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00
搬入終了時間	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00

三好様にお断りしておりますが，多くの方々と同様にさせていただきます。お断りいたします。

受付者	1	2	3	4	5	6	7	8
分母	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 1 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 2 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 3 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 4 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 5 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 6 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 7 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 8 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 9 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 10 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 11 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 12 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 13 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 14 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 15 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 16 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 17 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 18 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 19 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 20 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 21 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 22 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 23 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 24 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 25 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 26 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 27 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 28 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 29 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 30 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
2. 31 (日)	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30

☆ 1 学校展協力の報告書，お断りしております。ご迷惑をおかけいたします。ご了承ください。
 ☆ 2 学校展協力の報告書，お断りしております。ご迷惑をおかけいたします。ご了承ください。
 ☆ 3 学校展協力の報告書，お断りしております。ご迷惑をおかけいたします。ご了承ください。
 ☆ 4 学校展協力の報告書，お断りしております。ご迷惑をおかけいたします。ご了承ください。
 ☆ 5 学校展協力の報告書，お断りしております。ご迷惑をおかけいたします。ご了承ください。

資料5 作品の搬入風景

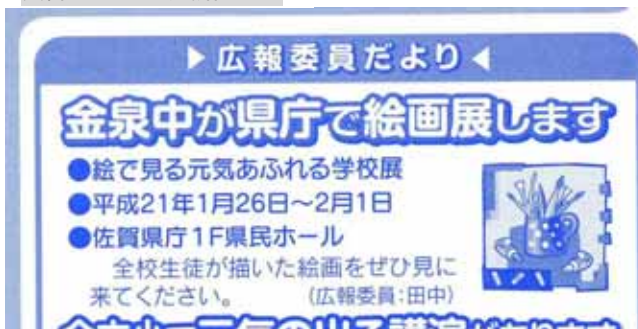


3 「絵で見る元気あふれる学校展」の反響
新聞記事等で取り上げられる

資料6 H21.1.25 掲載 西日本新聞 朝刊



資料9 金立公民館だより



事前の取り組み会期中の様子は、佐賀新聞と西日本新聞が取り上げた。各社とも、単なる中学生と小学生の学習成果物の発表会という位置づけではなく、児童生徒が思いを込めて作成した風景画、木工作品、書写にそれぞれ添付された承認メッセージカードの価値づけをしている。

佐賀新聞HPには、「絵とメッセージを見比べていた男性は、『子どもへの思いやりも感じられ、心が和む』との文面が記されている。また、西日本新聞は、國學院大学新富康央教授のコメントを書き記している。このことから、雄飛学園で展開する「開発的か

資料7 H21.1.27掲載 西日本新聞 夕刊



元佐賀大学副学長新富康央・國學院大教授は「自分を肯定できない中学生が増えており、同校の取り組みは一人一人の自尊感情を高める実践だ」と評価する。



資料8 佐賀新聞HP

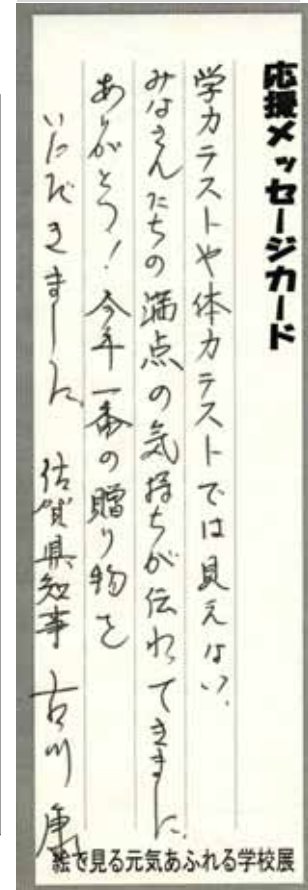


かわり」による小中連携や地域連携による地域総ぐるみの教育活動の大切さを再認識することができる。

参観者の「応援メッセージカード」から抜粋

- ・子どもを育てると言うことはこういう事なのかと改めて感じました。絵もさることながらメッセージに込められたまなざしを忘れないようにしなければいけないと思いました。ありがとうございました。
- ・素晴らしい展示会ですが、先生方も熱意や周囲の方の温かさを感じます。雄飛学園の取り組みも素晴らしいです。数年後我が子が金泉中学校へ行くのが楽しみです。
- ・一枚一枚の絵が一人の顔に見え、承認コメントを一人一人に関わる人々の顔(心)に見えてくる。承認・ほめる・認めるは教育の原点で中学校を生徒達を変革されてきた校長先生と職員の方々の熱い思い(愛)に感謝します。
- ・金泉中校区のあふれるパワー温かなまなざし、先生方の情熱、とても感動しました。これからもみんなでがんばっていきたいと思いました。たくさんの元気をありがとうございました。
- ・開発的とは承認と協働による教育ですよね。改めて教育の奥深さを再認識致しました。
- ・県庁には仕事に来て生徒さん達の絵に自然、建物等を描かれておりますが、感じたそのままの色、情景であり空の色ひとつをとっても感じ方一つでこれ程違うのだなと感じました。温かい気持ちになりました。ありがとうございます。

資料 10 応援メッセージカード



資料 11 「学校展」会期中の様子

金泉校区からはもとより、多くの来庁者が「学校展」に立ち寄り姿が見られた。中には、県庁近くの幼稚園児や小学生もいた。



4 今後の展開

今回試みた「学校展」の効果は明らかであった。承認メッセージを中学校の先生から書き添えられたことに小学生は喜びと自信を持つことができている。普段、教科担任以外は承認する機会が少ないがスケッチ大会の絵に学校職員だけでなく多くの保護者や出入り業者が承認メッセージを書き添えている。生徒からは、「嬉しい」や「時間をかけていねいに仕上げることは大切なこととわかった」、または「一生懸命描くといろんな見方をしてくれることがわかった」などの感想が聞かれた。開催を前にして木製掲示パネル 10 基(資料 11 参考)は生徒と職員が共同で製作した。ここにも生徒の「出番・役割・承認」があった。「児童生徒全員分の作品があなたのおかげで掲示できた。」である。

今後、金泉校区では様々な組織や団体等が連携して「開発的かわり」による雄飛学園の創造を構築していこうとしている。そのような中で今回の「絵で見る元気あふれる学校展」を具体的事例として示すことができたことは評価できると考えられる。応援メッセージカードにもあるように、継続して取り組むことができるようにしたい。そのためには、雄飛学園 P T A を中心に学校や公民館、広くは近隣の幼稚園や保育園が参加できるような仕組みを整えることが求められる。